



TOURNAMENT

トーナメント

本
気
MAJI

2.25^土
夜ロードショー

誰が一番強いのか？ ルール無し、審判無し、プライドを懸けた、

究極の異種格闘技戦！

空手・柔術・キック・忍術・軍隊格闘術・剣術・ケンカ

45分間。20試合の衝撃。料金1,000円 www.tournament.jp

誰も実現出来なかった、究極の異種格闘技戦!

二〇一二年。東京。
空手、柔術、キック、
忍術、軍隊格闘術、
剣術、ケンカ——
我こそが“最強”と信じる
男たちが一堂に会した。

「あの本物のひりつくような緊張感がついに戻ってきた!」

総合格闘技が隆盛になってスポーツ化してしまった今だからこそ、異種格闘技戦のひりつく緊張感をもう一度体験したいと思っていた。そしてあの時代を知らない若い格闘技ファンにも追体験してほしいと思っていた。それを実現してくれたのが「TOURNAMENT」だ。

★★★★★ 増田俊也 (作家)
「木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか」

何が一番強いのか?
ルール無し、
審判無し、
あるのは
己のプライド
のみ。

最強の格闘技は

何なのか? 本物の格闘家たちが自分の流儀で命をかけて戦う異種格闘技戦。(リアルなリングでも、フィクションのアクション映画でも成し得ない試合を実現したい——)これが企画の発端である。アクション映画という言葉では絶対に表現できないものを実現するために、現役の空手チャンピオンや武道師範、本物の格闘家たちが集められた。本気で戦ったら危険極まりない男たち。だから、最初は脚本もあり、演出もあった。どちらが勝って、どちらが負けるのか。台詞もあった。しかし、甘かった。そんな連中が言うことを聞くはずが無い。道場で軽く手合わせするだけでプライドがぶつかり合い、隙あらば倒してしまおうとする。興奮状態の猛獣たちは止められない。開始の合図など待たずに戦い始める。目の前でキックボクサーと古流武術が戦い始めるのだ。男達のプライドを計算に入れていなかったのは誤算だった。クランクインすると事態は混迷を極めた。いざ試合が始まると勝つはずだった者がKOされてしまい、負けるはずだった者が流派のプライドを爆発させて勝ってしまう。撮影してみても何が起きるかわからない。なんだこれ? 本当に、映画でもアクションでもない、別の何かが生まれてしまった。

トーナメント
TOURNAMENT

柔術 VS 空手
空手 VS 忍術
軍隊格闘術 VS 古武術
キックボクシング VS 空手
空水 流武術 VS カンフー

2月25日(土)より
2週間限定レイトショー公開決定!!
45分間。20試合の衝撃。料金1,000円

新宿三丁目駅C4出口前 マルイアネックス9F
新宿バルト9
03-5369-4955 (24時間自動音声案内)

阪神百貨店南側 イーモール7F
梅田ブルク7
06-4795-7602 (24時間自動音声案内)

イオンモールKYOTO sakura館 5F
T・ジョイ京都
075-692-2260 (24時間自動音声案内)